

アグリ・ビジネス探究班

生徒たちは双葉郡8町村ごとのグループ分け、それぞれの町村をフィールドに活動しています。

広野町

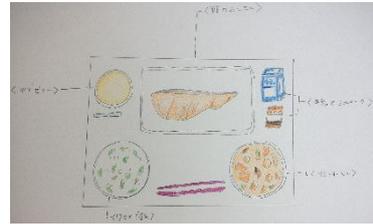


ヤマユリポイント



広野町の班では町の花であるヤマユリを人の行き来が多いところに植える活動を行う予定です。また、そのヤマユリを使用しての商品開発も視野に入れています。

檜葉町



福島県内産の食材を使った檜葉町に馴染みのあるメニューを開発します。そのメニューをもとに檜葉小中学校の給食として提供し、故郷の味を知ってもらおうという企画を行っています。

富岡町



震災前まで富岡町の銘菓として人気だった玉屋さんの「みそまんじゅう」を再現する計画を立てています。現在いわき市に在住している玉屋の店長さんから直接、技術指導を受ける予定です。

川内村



川内村では帰村宣言のもと、村の復興を目的とした様々なイベントが実施されています。私たちは川内村の婦人会と連携を図り、郷土料理を作った交流会を企画しています。

大熊町



いわき市の仮設住宅にお住まいの大熊町の方々との交流会を実施します。大熊町で人気の洋菓子屋さんだった「アトリエ Nobuya」さんに協力をいただく予定です。

双葉町



私たちは「震災後の事業再開」をテーマに調査を進めています。双葉町から移転した後に事業を再開した事業者の方々からお話を伺い、そのヒントを見つけたいと考えています。

浪江町



浪江町からお借りした浪江町のタブレット

私たちは、浪江町民の方々に配布されているタブレット端末を利用し、Webを通した若い人達同士の交流や、浪江町の方々の絆を繋げる方法を考えています。

葛尾村



震災前に葛尾村の冬の特産品であった、「凍みもち」を使ったデザートを開発します。開発後には、葛尾村で新商品発表会を催す計画を進行中です。